



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月9日

上場取引所 名

上場会社名 中部証券金融株式会社  
コード番号 8513 URL <http://www.chusyokin.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 湯本 崇雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 村瀬 洋

TEL 052-251-1301

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	658	△0.1	161	16.1	214	5.8	146	1.6
27年3月期第3四半期	658	△5.6	138	12.2	202	16.0	144	17.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	184.77	—
27年3月期第3四半期	181.84	—

(注)平成27年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で併合したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	51,644	3,568	6.9
27年3月期	54,268	4,259	7.9

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 3,568百万円 27年3月期 4,259百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	12.00	12.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月31日を基準日とする期末配当金の予想は、平成27年10月1日を効力発生日として実施した普通株式5株を1株とする株式併合を踏まえております。

## 3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	860	△0.1	180	3.5	270	1.2	180	△1.6	226.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株を1株の割合で併合したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	800,000 株	27年3月期	800,000 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	6,400 株	27年3月期	6,201 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	793,661 株	27年3月期3Q	793,971 株
----------	-----------	----------	-----------

(注)平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で併合したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の事業等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び事業予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株を1株の割合で併合したため、当該株式併合を考慮し算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成27年4月1日から同年12月31日までの9ヶ月間）のわが国経済は、設備投資や輸出に一部弱さがみられるものの、企業収益や雇用情勢には改善が見られ、景気は緩やかな回復基調をたどりました。一方海外に目を向けますと、米国の政策金利の引き上げの影響や、中国を中心とする新興国の景気の減速、原油価格の下落の影響等、先行きについては、わが国の景気を下押しするリスクに留意する必要があります。

株式市況についてみますと、19,034円で始まった日経平均株価は、企業業績の拡大や米国の好調な経済指標等を背景に上昇基調を維持しました。しかし、8月に入ると人民元の基準値切り下げをきっかけに中国景気に対する不透明感が意識され株価は下落、9月終わりには1万6千円台を付けました。その後、一時的に持ち直したものの、原油を中心とした資源価格の低迷が嫌気され株価は再び下落、最終的には19,033円で取引を終了しました。

こうした環境の下、当社の資金運用状況をみますと、まず、貸付金は顧客向け一般貸付金の増加を主な要因として、期中運用平均残高は60億円と、前年同四半期（51億円）比9億円の増加となりました。

貸付金以外の運用面をみますと、有価証券投資の期中運用平均残高は387億円と、前年同四半期（420億円）比32億円の減少となりました。また現金担保付きレボ取引による借入有価証券代り金の期中運用平均残高は73億円と、前年同四半期（70億円）比2億円の増加となりました。

こうした運用状況の下、当第3四半期の営業収益は、有価証券利息配当金が減少した一方で、一般貸付金利息が増加したため、6億58百万円と、前年同四半期とほぼ変わらずとなりました。営業費用は支払利息の減少を主因として前年同四半期（1億97百万円）比12百万円減少し、1億85百万円となりました。また、一般管理費は退職給付引当金の戻入及び減価償却費の減少を主因として前年同四半期（3億22百万円）比10百万円減少し、3億11百万円となりました。

この結果、当第3四半期の営業利益は1億61百万円と、前年同四半期（1億38百万円）比22百万円の増益となりました。また、これに営業外損益を加減算した経常利益は2億14百万円と前年同四半期（2億2百万円）比11百万円の増益となりました。最終的に税金費用を減算した四半期純利益は1億46百万円と、前年同四半期（1億44百万円）比2百万円の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、貸借取引貸付金及び未収入金の減少を主な要因として516億44百万円と、前事業年度末に比べ26億24百万円の減少となりました。負債は未払金の減少を主な要因として480億75百万円と、前事業年度末に比べ19億33百万円の減少となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金が減少したことにより35億68百万円と、前事業年度末に比べ6億90百万円の減少となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、引き続いて緩やかな景気の回復が続くことが期待されます。一方で、米国の政策金利の引き上げの影響や、中国を中心とする新興国の景気の減速、原油を中心とした資源価格の行方など海外の動向に留意が必要です。

こうした想定の下、当社といたしましては、中部地区における証券金融の専門機関として、証券界及び投資家の多様化するニーズ等に適切に対応し、貸付金残高の確保等に努めてまいります。平成28年3月期の業績予想につきましては、前回（平成27年4月27日）公表の予想値から変更しておりません。

また、業績予想につきましては、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は公表予想値とは異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	961,686	617,862
貸借取引貸付金	1,592,229	981,101
一般貸付金	4,587,596	4,740,008
貸借取引貸付有価証券	17,273	7,930
借入有価証券代り金	7,310,963	7,321,419
未収入金	5,271,347	3,615,592
その他	115,951	64,877
流動資産合計	19,857,048	17,348,791
固定資産		
有形固定資産	50,807	49,108
無形固定資産	17,119	65,860
投資その他の資産		
投資有価証券	33,787,687	33,653,840
その他	556,161	526,853
投資その他の資産合計	34,343,849	34,180,693
固定資産合計	34,411,776	34,295,662
資産合計	54,268,825	51,644,454
<b>負債の部</b>		
流動負債		
コールマネー	5,000,000	8,000,000
短期借入金	35,300,000	33,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,000,000	3,000,000
未払金	5,782,818	3,542,428
未払法人税等	52,985	17,735
貸付有価証券代り金	17,273	7,930
担保金	270,000	270,000
預り金	5,048	11,633
預り有価証券	15,525	7,809
賞与引当金	17,405	9,413
役員賞与引当金	7,900	5,400
その他	45,496	34,641
流動負債合計	48,514,453	47,906,990
固定負債		
長期借入金	1,000,000	—
繰延税金負債	322,102	—
退職給付引当金	131,028	127,010
役員退職慰労引当金	41,944	41,944
固定負債合計	1,495,074	168,954
負債合計	50,009,527	48,075,944

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
利益剰余金		
利益準備金	50,000	50,000
その他利益剰余金		
配当準備積立金	191,000	191,000
圧縮記帳積立金	18,968	18,749
別途積立金	1,530,000	1,530,000
繰越利益剰余金	1,480,267	1,579,505
利益剰余金合計	3,270,235	3,369,254
自己株式	△7,259	△7,629
株主資本合計	3,462,975	3,561,625
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	796,321	6,884
評価・換算差額等合計	796,321	6,884
純資産合計	4,259,297	3,568,509
負債純資産合計	54,268,825	51,644,454

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業収益</b>		
貸付金利息	87,538	102,396
借入有価証券代り金利息	1,670	1,305
受取手数料	7,076	6,648
有価証券貸付料	3,512	1,522
有価証券利息配当金	558,822	546,194
営業収益合計	658,620	658,067
<b>営業費用</b>		
支払利息	127,942	116,758
支払手数料	65,588	65,602
有価証券借入料	3,916	2,974
営業費用合計	197,447	185,335
営業総利益	461,173	472,731
一般管理費	322,321	311,460
営業利益	138,852	161,271
<b>営業外収益</b>		
投資有価証券売却益	2,234,755	2,277,260
その他	1,778	1,529
営業外収益合計	2,236,533	2,278,789
<b>営業外費用</b>		
投資有価証券売却損	348,365	1,271,754
デリバティブ取引運用損	1,796,358	922,769
その他	27,781	30,961
営業外費用合計	2,172,505	2,225,485
経常利益	202,879	214,575
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	5	391
特別損失合計	5	391
税引前四半期純利益	202,874	214,183
法人税、住民税及び事業税	58,445	59,877
法人税等調整額	56	7,659
法人税等合計	58,501	67,537
四半期純利益	144,372	146,646



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、有価証券を担保とした貸付業務及び有価証券運用業務並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。